



▲ はなむけの言葉を贈る坂田学長

# 2015年度 学位記授与式 新たな目標に向け

## 飛び立つ



▲ 感謝の言葉を述べる尾形さん

2015年度学位記授与式が春分の日の3月20日、石巻専修大学体育館で行われた。晴れの日を迎えた学部卒業生、大学院修了生は合わせて219人。日曜と祝日が重なり多くの保護者が見守るなか、新たな目標に向かって思い出のキャンパスを飛び立った。

### 2015年度学位記授与者数

研究科	専攻	人数
大学院	修士課程 物質工学	0
	修士課程 機械システム工学	0
	修士課程 生命科学	2
	修士課程 物質機能工学	0
	修士課程 生命環境科学	0
	小計	2
	修士課程 経営学	0
	修士課程 経営学	0
	小計	0
	合計	2
学部	基礎理	27
	基礎工	28
	情報電子工	22
	情報生産工	36
	小計	113
	経営	104
	合計	217

修士課程総代の齊藤愛美さん(理工学研究科)、学部総代の阿部真樹さん(理工)と阿部桃子さん(経営)に坂田学長から学位記が授与され、川島記念学術賞を受賞した7人には日高義博理事長から表彰状が贈られた。今年度で3期9年の任期を終える坂田学長は、式辞で東日本震災にふれ「さまざまな困難や不便に打ち勝って今日の日を迎えた皆さんに心から敬意を表します」と卒業生をねぎらった。被災地域の研究・教育機関として学外からの多様な要請に応え、学生が防災や復興に積極的に取り組む学生に輪がキャンパスに花開いた。

「出会いの一つ一つを大切にしたい」と決意の言葉で結んだ。恩師や仲間と写真を撮り合ったり、別れを惜しむ学生の輪がキャンパスに花開いた。

5年の歩みを振り返り、「大災害を経験した人ならではの優しさや胆力、仕事や社会の暮らしの場から課題を見出し、解決する人材として活躍してください」とはなむけの言葉を贈った。修了生を代表して大澤克磨さん(理工学研究科)が、学部卒業生を代表して尾形梓さん(理工)が謝辞を述べた。山形県出身の尾形さんは高校3年だった2011年、ボランティアとして石巻を訪れ、本学への入学を決意したと当時の心境を披露。「さまざまな人が助け合い、前を向く姿を見られたことは、大きな励みになった。生物生産工学科で先生方の熱心な指導を受け、友人と多くを学んだ充実した4年間で」と語り、「

石巻専修大学  
広報係  
☎986-8580  
宮城県石巻市  
南境新水戸1番地  
☎0225-22-7717(直)

2018年4月  
創立30年  
を迎え  
ます

川島記念学術賞に7人



▲ 菅原理樹さん(経営2)が最終報告書を手渡した

「観光まちづくり」を部准教授の学生9人が学ぶ経営学部・庄子ゼミ。半年がかりで大崎市の(指導・庄子真岐人間学「あ・ら・伊達な道の駅」)の活性化プランをまとめ、2月5日に大崎市で最終報告を行った。

国道47号沿いにある同道の駅は全国有数のにぎわいを誇るが、若者の利用が少ないのが悩み。学生の発想を集客に生かそうと大崎市、仙台河川国道事務所との4者連携事業として、ゼミ長の若山純也さん(経営4、宮城県石巻商業高)ら4年次5人と2年次4人が昨年7月から、現地調査や学内アンケートを実施し、課題を抽出。新たな魅力となる企画づくりに取り組んだ。

「あ・ら・伊達な道の駅」の活性化プランをまとめた。2月5日に大崎市で最終報告を行った。

1、2位独占  
巨理クロカン  
第63回巨理クロスカン トリー大会が2月14日、宮城県巨理町で開かれ、一般・大学・高校女子4つの部で女子競走部の漆戸雛さん(人間1・青森県八戸学院光星高)が1位、牧野あやさん(経営1・岩手県北上翔南高)が2位と上位を独占した。

入試制度検討専門委員会委員長、経営学部教務委員会委員長などを歴任。担当は英語、商業英語など。

「あ・ら・伊達な道の駅」の活性化プランをまとめた。2月5日に大崎市で最終報告を行った。

理工学部情報電子工学科主任、大学院理工学研究科物質工学専攻主任教授などを歴任。担当は半導体デバイス工学、電子材料工学実験など。

理学部  
都合により写真は掲載いたしません

工学部  
久保 匠平さん

経営学部  
阿部 桃子さん

藤原 優真さん

川島記念学術賞に7人

阿部 真樹さん

尾形 梓さん

吉田 喜子さん

合同企業説明会  
就活が本格化  
2017年3月卒業生(現3年次生)を対象とした本学主催の合同企業説明会「キャリアガイダンス」が、企業の広報活動解禁となった3月に開催され、学生たちは本格的な就職活動をスタートさせた。

定年2教授  
長年にわたり研究や学生の指導に尽力されてきた2教授が定年で教壇を去られる。